

【ゲンロク】

2019
DEC
No.406

12

定価 998Yen

Ferrari in the Future 進化するフェラーリ

新V8ミッドシップ、F8トリブートの全貌
3モーターPHV、SF90ストラダーレ日本上陸
458イタリア、488スパイダー再検証
歴代V8ミッドシップの魅力



ロールス・ロイス／BMW／GT-R特選ショップ

〔SUPER TEST〕マクラーレン600LT

〔BRAND NEW〕アストンマーティンDBS
スーパーレジャエーラ・ヴォランテ

〔ポルシェの最新事情〕タイカン／911カレラ
カイエン・ターボS Eハイブリッド

全方位型フェラーリを目指して

ラグジュアリーの極み

ルッソとはラグジュアリーという意味だ。我々はいフェラーリと向き合う時、フェラーリが己の走りに対して貴く理想像を前に、軽い気持ちでカスタムなどして乗り倒すことを躊躇しがちになる。もちろん、ひと声3000万円、オプションまで総額すれば4000万円代が見える価格の敷居の高さもある。しかし、フェラーリGTC4ルッソの場合、それがV12かV8（T）かはいったん脇に置いておいて、徹底的に自由にそしてラグジュアリーな感覚で乗り倒したい。そう、フェラーリが認めたと思うべきだ。とはいっても、ゴテゴテと飾り立てるだけのラグジュアリー・ドレスアップでは無粋だ。肝心なのは、攻

めるポイントと引くポイントを吟味して、ベースの魅力を引き立たせること。今回、ECスペックがコーディネートしたGTC4ルッソを前に、そんなことを考えていた。

攻めるポイントとして欠かせないのがホイールセレクトだ。GTC4ルッソに限らず、ホイールはカスタムの出発点であり永遠のテーマである。今回、ブリクストン・フォージドを投入した。2013年の創業以来、飛ぶ鳥を落とす勢いで成長を続けるアメリカ西海岸系の鍛造ホイールブランドだ。彼らのホイールコレクションはそれどれもが宝石のように繊細で美しく、ルッソという世界観にはピッタリだと思える。

見るからにラグジュアリーなこの

ールだから、さすがに大気感は強調される。それでもシューティングブレークのフォルムに対して、踏ん張り感が強調されて、とてもよく似合っている。

このホイールとクルマとをマッチさせるために、フェラーリチューナーとして名高いノヴィテック・ロッソ製のローダウンスプリングを使って、車高を適正化させた。そのうえでホイールに組み合わせられるコンチネンタル・スポーツコンタクト6のショルダーの立ち具合までを加味して、フェンダーとのクリアランスをミリ単位で詰めていく。それを可能とするオーダーメイド体制が、ブリクストン・フォージド側に整うからであり、そうしたシステムを活かしたセットアップはECスペックの得意とするところだ。なお、タイヤサイズはフロント255／30 R21、リヤ335／25 R22となる。

このラグジュアリーな世界観を、そつと底上げするために、純正では黒い樹脂だったディフューザー部分などをボディ同色でペイントした。これでクルマは引き締まる。シューティングブレークの造形を前にして、エアロなどは一切設けない。それがまた「シンプルに足もただけ」ということを強調させていて好ましい。

フェラーリがルッソという名前を使うのは、GTC4ルッソが初めてではない。1962年に登場したフェラーリ250 GTCルッソが発端となったことは有名だ。250系の集大成にしてGTOのロードゴーイングモデルである当時のルッソの足もとには、繊細で美しく光り輝くワイヤホイールが装着されていた。ECスペックのGTC4ルッソは、まるで往年のこの世界観を表現したかのようだ。最後になって妙にこのクルマの美しさが胸に落ちた。

何しろフェラーリ自身がラグジュアリー（ルッソ）と命名したからには、こうしてアメリカン鍛造ホイールなどを組み合わせて、徹底的に日常やレジャーで乗り倒すのがいい。

銘柄はPF10という。正確には2ピースを採用するDUO（デュオ）シリーズで成り立つPF10だ。複雑怪奇なメッシュデザインを紐解くと、実際はアシメトリー形状を持つ10本のY字スポークで構成されている。2018年のSEMAショーでは、このPF10を最前面に出して訴えていたから、彼らにとってもフラッグシップで自信作なのだろう。

今回、シックなガンメタ調のボディカラーの中で、燦々と輝く太陽のように映えるフルポリッシュ仕上げのPF10が収まった。サイズはフロント9・5J×21インチ、リヤは12・5J×22インチという前後異形となる。フェラーリの標準が20インチなので、1〜2インチアップだ。リムエンドいっぱいまでスポークが拡がって実寸よりも大きく見えるホイ



フェンダーいっぱいには拡がるホイールの様子があらゆる角度から確認できる。今にも駆け出しそうなスポーティなシューティングブレークフォルムと相まっていい雰囲気である。

EC.SPEC Ferrari GTC4 Lusso



10本のY字状スポークで形成されるブリクストン・フォージドのPF10。各スポークはリムに対してフローティング形状となっており、まるで浮いているように見える。フルポリッシュ仕上げでラグジュアリームード満点だ。サイズはフロント21インチ、リヤ22インチ。